

http://www

# 新型インフルエンザ ニュースレター@青森県

Pandemic Flu Newsletter @Aomori Pref

新型インフルエンザ関連情報をお届けする、ニュースレター

現在は、「平時」(新型インフルエンザが発生していない状態)です。

<p>発行日 Newsletter Date 2012年7月30日</p>	<p>フロントページ 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』2012年第11号</p>
<p>目次 Inside This Issue</p> <p>1 『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』第10号</p> <p>2 <b>速報</b> 新たな変異型 H3N2 インフルエンザのヒトへの感染</p> <p>3 鳥インフルエンザなどの発生情報</p>	<p>こんにちは、青森県保健衛生課です。</p> <p>多くの皆様にご覧いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>今後も引き続き、『新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県』を 平時での新型インフルエンザ対策のほか、通常の季節性インフルエンザ対策にもご活用ください。</p>
	<p><b>速報</b> 4人の新たなブタ由来インフルエンザ H3N2 ウイルスによる感染症例の発生</p>
	<p>米国インディアナ州保健局、同州ラポート郡保健局等は、7月25日、ラポート・カウンティ・フェア(開催期間7月8日～14日)に関連した4人のブタ由来インフルエンザ H3N2(変異型 H3N2)感染患者が発生し現在調査中と発表。4人は全員ブタとの直接接触をしており、また全員回復しています。</p> <p>○患者に関する情報は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4人の患者のうち2人は、7月12日に発症、救命救急センターでの治療を受けています。残りの2人は保健局の疫学調査により確認されたものです。</li> <li>・ 7月18日、同州保健局が患者の検体に対して行ったPCR検査により、変異型 H3N2 インフルエンザ感染疑いとされ、同月21日、米国疾病管理センター(CDC)が2009年に発生した新型インフルエンザ(A/H1N1)の遺伝子の一部を獲得した変異型 H3N2 ウイルスへの感染であることを確認しています。</li> <li>・ 患者は全員、ブタの品評会を実施している者又はその家族で、ブタとの濃厚接触がありました。</li> <li>・ 4人に感染したウイルスは、2011年に報告された12人及び2012年に報告された1人で確認された変異型 H3N2 ウイルスに類似するものでした。</li> <li>・ 4人の患者は重症化も入院もせず、現在全員回復しています。</li> </ul> <p>○同フェアの品評会でのブタに関する情報は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同フェアでのブタ12匹から採取された呼吸器検体からもインフルエンザ A/H3N2 ウイルスが検出されました。</li> </ul> <p>○その他の情報については次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同州疫学担当者によると、ヒト-ヒト感染による患者は確認しておらず、ヒト-ヒト感染の兆候や他の患者の有無について調査しているところ です。</li> <li>・ CDCは、今年4月、「変異型 H3N2 ワクチン用のウイルス候補株を選定し、</li> </ul>

ワクチンを開発しているところであり、数か月後には治験が開始される予定である」旨を発表しています。

- ・ 同州保健局は、ブタに直接又は通常に接触する者で、インフルエンザ様症状（セキ、ノドの痛み、発熱、筋肉痛、鼻水、嘔吐、下痢を含む）を呈した者は、医療機関又は保健所に連絡するよう注意喚起しています。

【参考】米国の州別変異型インフルエンザウイルスのヒトへ感染報告数

(2005年12月～2012年7月27日現在)

期間 ウイルスの亜型 発生報告があった州	2005年12月～2012年4月			うち2011年7月～2012年7月		
	H3N2v	H1N1v	H1N2v	H3N2v	H1N1v	H1N2v
イリノイ		1				
インディアナ	6			6		
アイオワ	4	3		3		
カンザス	1					
メイン	2			2		
ミシガン			1			
ミネソタ	3	2	1			1
ミズーリ		1				
オハイオ		2				
ペンシルバニア	5			3		
サウスダコタ		1				
テキサス		1				
ウエストバージニア	2			2		
ユタ	1			1		
ウイスクンシン	1	2			1	
計	25	13	2	17	1	1

【CDC 14～17 番目の変異型 H3N2 感染:安全なフェアの実施に関する助言 7月27日】

<http://www.cdc.gov/flu/spotlights/safe-fair-going.htm>

【CDC カウンティ・フェアでのヒトとブタでのインフルエンザ A/H3N2 感染の発生 7月27日】

[http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm6129a5.htm?s\\_cid=mm6129a5\\_w](http://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/mm6129a5.htm?s_cid=mm6129a5_w)

【インディアナ州保健局 ラポート郡フェアにおけるインフルエンザ様症状を調査 7月25日】

[http://www.in.gov/activecalendar/EventList.aspx?view=EventDetails&eventidn=57794&information\\_id=116631&type=&syndicate=syndicate](http://www.in.gov/activecalendar/EventList.aspx?view=EventDetails&eventidn=57794&information_id=116631&type=&syndicate=syndicate)

## ニュース

### 鳥インフルエンザなどの発生情報

#### 鳥インフルエンザ A (H5N1) のヒトへの感染症例

WHO が確認した鳥インフルエンザ A (H5N1) 感染症例 (2003 年～2012 年 7 月 6 日)

確定症例	607 人
うち死亡例	358 人
致死率	59.0%

WHO は、「鳥インフルエンザ A/H5N1 のヒトへの感染等に関する要約と評価 (6 月 25 日現在)」を発表。その概要は次のとおりです。

○鳥インフルエンザ (A/H5N1) のヒトへの感染

エジプトでの 2012 年の上半期の確定患者数は過去の年次と比較して減少しています。また、確定患者の年齢中間値は上昇しています。2009 年で多くを占めていた 10 歳未満の患者は近年減少していますが、これは曝露、感染への感受性などの違いによるものかどうかは不明です。10 歳未満の患者の生存率は、年齢層の高い患者のそれよりもよくなってい

るようです。

【参考】エジプトにおける鳥インフルエンザ（A/H5N1）確定患者（2009～2012年）

発症年	2009	2010	2011	2012
年齢中間値	3歳	27歳	21歳	31.5歳
症例数	39人	29人	39人	10人*
10歳未満の割合	80%	20%	36%	30%
全体の致死率	10%	45%	38%	50%
10歳未満の致死率	6%	16%	0%	0%

※2012年は上半期のみ

#### ○全体的な公衆衛生上のリスク評価

過去の年の状況に基づく、家禽での鳥インフルエンザ A/H5N1 の報告数の減少は、この時期としては予期されたものです。家禽で鳥インフルエンザ A/H5N1 が循環する国において、6月に報告された散発的な患者1人は予測の範囲内でした。提供されている情報からは、継続的なヒト-ヒト感染のリスクはありません。

【WHO 月報 高病原性鳥インフルエンザのリスク評価の要約 6月25日】

[http://www.who.int/influenza/human\\_animal\\_interface/HAI\\_Risk\\_Assessment/en/index.html](http://www.who.int/influenza/human_animal_interface/HAI_Risk_Assessment/en/index.html)

### インフルエンザの発生情報・研究報告など

#### ○WHO：インフルエンザ、南半球での流行

WHO は、7月20日、南半球のいくつかの国でインフルエンザの流行が拡大していると更新情報を発表。流行国は豪州、ニュージーランド、ボリビア、ブラジルとなっています。

【WHO インフルエンザ更新情報 7月20日】

[http://www.who.int/influenza/surveillance\\_monitoring/updates/2012\\_07\\_20\\_surveillance\\_update\\_164.pdf](http://www.who.int/influenza/surveillance_monitoring/updates/2012_07_20_surveillance_update_164.pdf)

#### ○報告：耐性変異はインフルエンザウイルスの適応性を減少させるが、感染力を減少させない

過去の季節性 H1N1（ソ連型）及びインフルエンザ（A/H1N1）2009 へのオセルタミビル耐性を与える H275Y ノイラミニダーゼ変異は、わずかにウイルスの適応性を減少させるが感染力を減少させるものではないと報告。

【ウイルス学ジャーナル 7月18日】

<http://jvi.asm.org/content/early/2012/07/12/JVI.00985-12.short>

#### ○研究：2009年の新型インフルエンザ（A/H1N1）による死亡、2つの流行波で同様

パンデミック期での流行波ごとの死亡者の状況は多様でありえるが、2009年の新型インフルエンザ（A/H1N1）の春と秋の流行波それぞれにおける死亡傾向は概ね類似していたという報告。

【WILEY 米国での2009年の新型インフルエンザ関連死亡者の疫学 7月16日】

<http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1750-2659.2012.00408.x/abstract>

## 編集後記

## 第30回オリンピックの開始に伴って…

第30回オリンピックが、7月27日からロンドンで始まりました。

欧州疾病管理センター（欧州CDC）は英国保健予防庁などの機関と協働して、オリンピックにおける感染症サーベイランスを強化しています。

感染症は、2012年のオリンピック／パラリンピックにおいては大きな問題をはらむものではないとしていますが、オリンピック・パラリンピックへの参加者における最大のリスクは、食品の不適切な処理や手指衛生の不十分さによる食品由来又は水由来の疾患が発生する可能性であるとしています。

参加者のみなさんが全力で競技に打ち込めるよう、欧州CDCなどの機関には十分な対応を期待します。

ロンドンでのオリンピック大会は7月27日から8月12日まで、パラリンピック大会は8月29日から9月9日までとなっています。

**第4回感染症リスクマネジメント作戦講座は、8月16日（木）、17日（金）に実施します。**

詳しくは、[感染症リスクマネジメント作戦講座](#) [検索](#) をご覧ください。

※ 本作戦講座は英語表記の頭文字にちなんで、略称を「アイリス」と名付けています。  
（感染症リスクマネジメント作戦講座 **A**omori prefecture **I**nfectious Disease **R**isk Management **S**trategy Course, “AIRiS”）

発行：青森県健康福祉部保健衛生課

030-8570 青森県青森市長島 1-1-1

Phone:

017-734-9215

Fax:

017-734-8047

E-mail:

[hoken@pref.aomori.lg.jp](mailto:hoken@pref.aomori.lg.jp)

青森県庁「インフルエンザ対策」

[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic\\_flu\\_action.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/pandemic_flu_action.html)

青森県庁「新型インフルエンザ・ニュースレター@青森県」

[http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata\\_flu\\_taisaku.html#newsletter](http://www.pref.aomori.lg.jp/welfare/health/shingata_flu_taisaku.html#newsletter)